

様式 2

南関町消防出初式の様子



南関町の消防出初式は、毎年1月の第2土曜日に開催される新春恒例の伝統行事です。南関町消防団の歴史は、江戸時代の寛永9年（1632年）に結成された「関手永火消組」にまでさかのぼります。明治15年（1882年）には、当時最新鋭だった手押しポンプ「龍吐（りゅうど）水（すい）」の購入を祝い、川幅15mの竜瀬川の両岸で手押しポンプによる標的落とし競技が行われました。この際、勝った組が負けた組に手押しポンプで水をかけたことが「放水合戦」の始まりと伝えられています。極寒の中、ラッパの合図とともに対岸の相手めがけて一斉に放水し、全身ずぶぬれになる消防団員たちの勇壮な姿は、140年以上にわたり受け継がれてきました。現在では、県内外から多くの見物客が訪れ、地域の安全と団員の士気を象徴する行事となっています。勇壮・果敢な消防団の出初式をぜひご覧ください。